

学校
向け

目的

事前学習

オリエンテーション授業のモデルプログラム

50分 × 2コマ

職場体験先で働く人が、日々どのように仕事をしているのか、
またどうしてその職業についているのか等を聞くことで、働くことに対する意識を高め、
自分は職場体験で何を学び・どう活かすのか考える姿勢を養う

1 GOME

導入ゲーム 10分

「本気ジャンケン」

中学生とゲストが立ち上がり、
自由にジャンケンをし合う。
勝ったら本気で喜び、負けたら本気で悔しがる。
3人に勝利した人から順に、全員で1つの円をつくるよう並ぶ。

「キャッチ」

円の状態で、右手の人差し指を、右隣の人の左の手のひらに乗せる。「キャッチ」という掛け声で、左手は掴み・
右手は逃げる。全員で集中力を高めるゲーム。



4 Group work

グループワーク 40分

「ミッションについて
知っていること、
知るべきこと、
思いついたこと」

●グループごとに3つの項目について
模造紙に意見を書き出す。
●各自の職場体験での目標・意気込みを
共有する。



3 MISSION

しごとトーク (ミッションの発表) 20分

●事業所概要の説明

●事業所、もしくは業界として 課題となっていること

例) 観光客の数が減ってきて
※具体的な数値があると良い

●課題解決型職場体験の ミッションの発表

●3日間を通じて 学んでほしいこと、 期待すること

●3日間の 体験内容の説明、 体験における諸注意

POINT
自社パンフレット、
実際の仕事道具などを
見せながら話す。
服装はいつも
仕事着で

ミッション設定の
意図や想いを
伝える



事業所
向け

作成の手順

生き方トークのつくり方



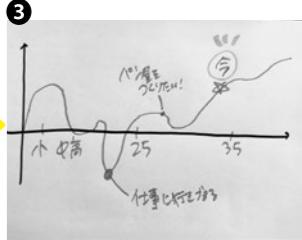
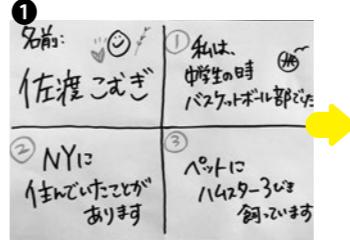
- これまでの人生を振り返り、子どもたちに伝えたいこと、今の仕事につながるエピソードを整理する
- 以下の6つの項目を中心に、A4用紙やスケッチブックに要点を書き出す
…当時や現在の様子がイメージできる写真やイラストがあると分かりやすい

START!

1 導入

Point!

- 自己紹介で生徒との距離を縮める(共通点が見つかると、親近感が湧く)
- 紙芝居の大まかな流れを伝える



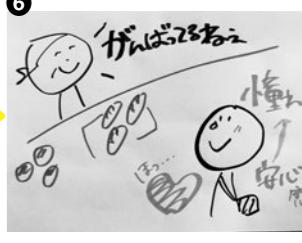
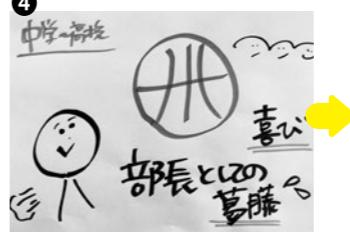
「学生時代の写真です。同じくバスケ部の人、いますか?」「おお、一緒だね」

人生チャート～これまでの歩み～
「私はこれまで、こんな人生を歩んできました。今日は主に、今の仕事につながる出来事についてお話をします」

2 学生時代の 印象的な出来事、 乗り越えて きたこと

Point!

- 成功体験だけでなく、失敗したことや当時の悩み、それをどう乗り越えたかについて話す



「中高時代は、バスケ部の部長。大好きなバスケができる喜びを感じつつ、先生とチームメイトの意見の板挟みに合い、葛藤する日々でした」「具体的には、～(エピソード)」

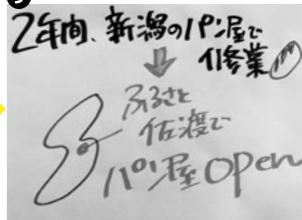
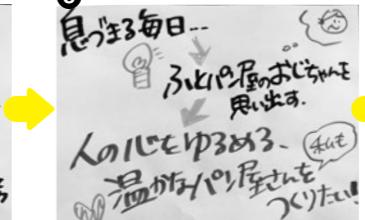
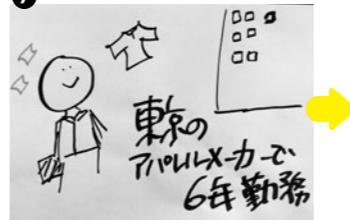
「高校2年のある日、先生に怒られて落ち込みながら帰っていると、通学路に美味しい匂いが…ふらりとパン屋さんに入りました」

「店主のおじさんが、落ち込んだ自分に話しかけてくれて、普段の部活での出来事や葛藤を聞いてくれたんです。はじめて誰かに悩みを打ち明けられて、すごく楽になりました。その時は、自分もいつか人に安心感を与える人になりたいなって思いました」

3 今の仕事に 就いたきっかけ

Point!

- 自分の行動により気づいた、仕事をする上で大切にしていきたい価値観について話す



「でもその思いはだんだん忘れてしまい、大学に進学し、当時興味のあったファッションを仕事にしたい、都会で働いてみたいと、東京のアパレルメーカーに就職し6年間働きました」「当時は～(エピソード)」

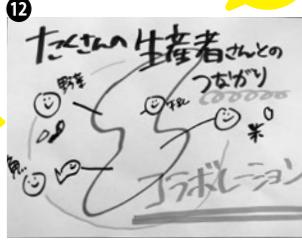
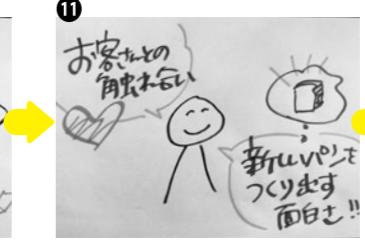
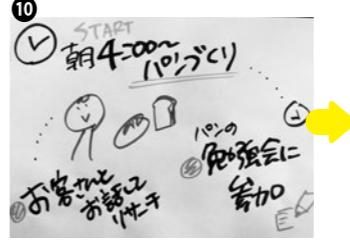
「息がつまる毎日を送っていた中、ふとあるパン屋さんに入った時にすごく心がホッとして。高校時代のパン屋のおじさんのことを思い出したんです」「そうだ、やっぱり私は人の心をゆるめる、温かなパン屋さんをつくりたい!と思いました」

「2年間、新潟市内のパン屋さんに弟子入りし、技を磨きました。昨年、ふるさとの佐渡でパン屋を開業しました」

4 仕事の内容や役割

Point!

- 仕事のやりがいや醍醐味に加え、
佐渡で働く魅力・可能性、今後の
展望などについて最後に伝える



「自分がしてもらって嬉しかったように、お客様とじっくりお話しする時間が好きです。パンを買に来るだけでなく、気軽におしゃべりしに来てくれるのも嬉しい」

「佐渡は、たくさんの生産者さんがいます。そんな仲間とコラボレーションして、佐渡の魅力を伝える、佐渡にしかない美味しいパンをつくりたいと思っています!」

GOAL!